

社会貢献

企業市民として社会とともに発展し続けられるよう、
将来を担う世代への支援や地域の活性化などに取り組んでいます。

安川電機みらい館の活動を通じた次世代育成

安川電機みらい館は、当社創立100周年を記念して2015年6月1日にオープンした「ロボット村」の中核施設です。当社ロボットとのふれあいを通じて“ものづくりのすごさや楽しさ”を伝える体験型展示施設として、次世代を担う子どもたちをはじめ、国内外を含む6万人以上の皆様にお越しいただいています。小中学校の夏休み期間中には、当社の基幹であるモータの仕組みについて学びながら、ものづくりに興味をもっていただくことを目的に、ホームセンターで販売している日用品を活用した手作りモータ教室を開催しました。参加した子どもたちの真剣な眼差しと手作りモータの動きに一喜一憂する姿は、私たちの取り組みの確かな手ごたえとなり、次の新たな取り組みへとつながっています。



手作りモータ教室

また、ドイツで実施されている女子の技術系進路への推進キャンペーンである「ガールズデー」の日本版を「ロボット村」にて開催しました。女子中学生を対象に、安川電機みらい館やロボット工場の見学とあわせ、女性技術社員の指導によるシミュレーターを使用した産業用ロボットのプログラミングと実機による動作試験を体験いただくことで、参加者の技術に関わる仕事への理解度促進に貢献しました。これからも、安川電機は「ロボット村」をはじめとする当社施設を活用し、次世代の技術を担う子どもたちの育成に取り組み続けます。



ガールズデー

高専ロボコン協賛による次世代育成支援

当社は、2005年より「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト（高専ロボコン）」に協賛しています。高専ロボコンは、全国の高等専門学校が参加し、ロボット製作のアイデア、技術、性能を競い合う全国規模の教育イベントであり、2017年には30回目を迎えます。

ロボット事業を営む当社は、次世代の技術者育成のため、多くの若者がものづくりに情熱を注ぐ高専ロボコンを応援しています。



教育機関・大学との産学連携活動

当社は、様々な教育機関との連携を通して、必要な資金提供や人材の派遣による連携講座、共同研究活動を実施しています。また、本社所在地である北九州地域だけでなく、国内外においても多くの大学や教育機関との間でこのような活動を行っています。

当社創業者の父である安川敬一郎がそのもととなる学校を開校し、歴史的にも当社との関係が深い九州工業大学では、人材育成を目的とした寄附講座を実施しています。また、今後当社ロボットの生産拠点として関係強化が期待される欧州

スロベニアでは、研究活動におけるコラボレーションを進めています。

これらの活動により、企業における具体的な技術開発活動や必要性を直接伝えることができ、将来社会で活躍する技術者の育成に関与することで社会への還元が促進されます。また、大学・高専など教育機関と企業の研究者・技術者の交流により、技術や学問、ものづくりを通じた相互理解、そして将来の相互の発展につながる関係の構築が期待できます。



九州工業大学での寄附講座



九州工業大学での研究活動



共同研究を行うスロベニアの研究機関

北九州における地域貢献活動

2016年8月、安川電機みらい館にて「夏休み親子祭り」を開催しました。

このイベントは、地域の地域団体が企画した催しを安川電機みらい館で実行する初めての試みでした。安川電機を育てていただいた黒崎を地元の皆様と一緒に盛り上げていこうという思い、また、子供たちにもものづくりの楽しさを伝えたいという思いが一致し、このコラボが実現しました。

硝子の万華鏡、革小物、スタンドグラス、陶芸、書道教室など、多くのワークショップと併せて、最新のロボットを体験できるという相乗効果で、多くの子供たちが参加し、ものづくりの楽しさを体験してもらうことができました。2016年度はこの他にも複数の地域イベントに参画し、地域の一員として積極的に活動しています。



夏休み親子祭りのワークショップ

